Evaluation Association of Electromagnetic environment protection products

一般社団法人
電磁環境・電磁波防護製品評価協会

一般社団法人
電磁環境・電磁波防護製品評価協会

活動趣旨

EAEは、ペースメーカ・ICD等（以下PM等と表記）装着者が安心して就労や日常生活を送るため、「電磁波の可視化」を推進してきました。厳密なガイドラインを策定し、職場や施設、電磁波を発生する製品などの調査を実施。目に見えない電磁波がPM等に及ぼす影響を「EAEマーク」で可視化し、PM等装着者の安心安全を実現します。さらに活動収益を障がい者の雇用促進、自立支援、就労環境の改善など支援事業に役立てるとともに、すべての人にとって安全安心な環境の創造に寄与することを活動目標としています。

EAEマーク　「施設」「製品」「防護服」用の３種類

●施設評価EAEマーク……職場や公共施設の電磁環境を整備

医療技術の進歩により、PM等装着者も健常者と変わりなく社会で活躍しておられます。しかし厚労省や総務省から電磁波による誤動作の注意喚起が促されるなど、PM等装着者の不安は軽減されず、安心して生活や仕事をするために電磁環境の整備や安全対策が求められます。

長時間過ごすことの多い職場、そして暮らしに欠かせない飲食店や公共施設の電磁環境を可視化するのが「施設評価EAEマーク」。電磁波に対する安全対策を整えた職場や施設だけに付与します。

◀「施設評価EAEマーク」
・電磁界安全性調査の結果、PM等装着者にとって電磁的影響のないよう安全対策をしている職場や施設

●製品評価EAEマーク……家電などの安全性を３段階で評価

通信機器をはじめ電磁波を発生する製品があふれています。とくに家電・美容・健康器具の多くは安全性が明確ではなく、PM等装着者が使用できるかどうかの判断に迷っています。メーカーや販売会社と協力し、製品がPM等に影響を及ぼす可能性を厳しく調査。３段階の評価によって、ひと目で安全性を確認できるのが「製品評価EAEマーク」です。当協会ではユニバーサルデザインの一環として、こうした電磁波の可視化を推進しています。また、車の盗難防止装置や電気自動車の急速充填機等につけられる電磁波注意マークの統一化も視野に入れて活動をしています。

◀「製品評価EAEマーク」
・当協会の評価基準により、製品に表示できます
「安全確認マーク」（左・グリーン）
「注意喚起マーク」（中・オレンジ）
「接近注意マーク」（右・チェリー）

●電磁波防護製品評価EAEマーク……防護服などを性能調査・PM等装着者の不安を解消

強い電磁波が及ぶ可能性があるケースに使用する防護ベストなど、人体用防護製品の安全性を評価するのが「電磁波防護製品評価EAEマーク」です。当協会が定めた基準による試験調査を行い、合格した製品だけにマークを付与します。

このEAEマークが広く社会に認知されることにより、不良品や詐欺的な製品によってPM等装着者が危険にさらされるなどの被害を防ぎ、より大きな安心で支えていきます。

◀「電磁波防護製品評価EAEマーク」
・PM等体内植込み型医療機器の誤動作を防ぐ防護製品（左）
・その他人体用電磁波防護製品（右）

▶情報公開について　それぞれの「評価EAEマーク」にはQRコードを記載し、インターネットで情報公開します。

EAE は「安心」と「自立」をめざします

事業概要

1. 人体用電磁波防護製品の評価方法と表示方法、並びに電磁環境調査方法のガイドライン策定
2. 職場や公共施設等での電磁環境調査に基づく「EAEマーク」の付与と普及
3. 各種機器のペースメーカ等への電磁波影響調査に基づく「EAEマーク」の付与と普及
4. 上記ガイドラインに準じた人体用電磁波防護製品への「EAEマーク」の付与と普及
5. ガイドラインに準じない人体用電磁波防護製品の不当表示に対する警告と関係省庁への報告

上記事業収益を元に実施する事業

6. 障がい者団体、賛助会員である当協会関連団体等への助成支援事業
7. 障がい者自立支援のための障がい者雇用促進事業
8. 当協会各種マークの普及と広報事業

事業形態　当協会が行う6つの事業

●職場や公共施設の安全な環境を実現できます。
●PM等装着者の安全が確保され、就労につながります。
●EAEマークによって、正しく評価された製品を選択することができます。

当協会の活動に賛同いただける団体、企業、個人様は、ぜひ賛助会員としてご協力、ご参加ください。

組織概要

●理 事 会

会　　長	嵐谷　安雄	社会福祉法人　日本身体障害者団体連合会 相談役（元会長） 一般財団法人　大阪府身体障害者福祉協会 相談役
副 会 長	髙橋　靖	日本心臓ペースメーカー友の会 会長代行（事務局長）
理　　事	徳永　周三	ＮＰＯ団法人 ハート・プラスの会 理事（事務局長）
理　　事	飯塚　善明	社会福祉法人　日本身体障害者団体連合会 常務理事（事務局長）
理　　事	石橋　壽子	一般財団法人　大阪府身体障害者福祉協会 前評議員
理　　事	松井　英樹	メディカル・エイド株式会社 代表取締役
事務局長	大栗　實	有限会社ジィ・クス 代表取締役（プロダクトデザイナー）
副事務局長	白井　伸明	

●会員構成

正 会 員　本会の目的および事業に賛同し、本会を支援する個人・障がい者団体・業界団体

賛助会員　本会の目的および事業に賛同し、自社の施設や製品に「EAEマーク」を使用するため入会した個人・法人・団体

●運営資金

会員の入会金、会費、マーク普及事業、業務過誤賠償責任保険事業にともなう収入、および寄付金品、その他の収入によって運営いたします。

●入会金・年会費 ※EAEマークは入会しなくても登録申請できます。登録料や調査費用の会員値引きがあります。

	会　員　種　別	入　会　金	年　会　費
正会員	個人・障害者団体・その他団体	無　料	50,000円※
賛助会員	従業員数　1名～99名	10,000円	50,000円
	100名～4,999名	10,000円	100,000円
	5,000名以上	10,000円	200,000円

※障がい者団体、または協会事業に労務貢献する個人は年会費を免除します。

会員割引などの特典、EAEマーク付与の調査料・使用料等の詳細はホームページをご覧ください。

■EAEマークの補償制度について

ＥＡＥマークの表記に問題があった場合は、被害者に対して以下の補償をいたします。

（1）事故調査と原因究明

当協会では、万一の事故が生じた時、被害者への対応や事故原因調査を実施し、事故原因がＥＡＥマークを表記した施設・機器や設備が原因であったことを調査します。ペースメーカやＩＣＤ等は電磁的な影響を受けた際にイベントが記録され、日時が特定できます。イベントの日時の状況を調査し、電磁界調査することにより原因が解明されます。

（2）ペースメーカ・ＩＣＤ等装着者への保障

事故調査でＥＡＥマークの表記が原因であったことが分かった場合、ＥＡＥは以下の補償を致します。

①ペースメーカ・ＩＣＤ等装着者への治療･診療費や付帯する交通費　②通院のための休業補償　③ＥＡＥマークを改定するための費用の負担（施設や設備･機器に貼付されているＥＡＥマークの差し替え変更に伴う費用を負担いたします）

認定評価・調査企業

当協会のガイドラインに準じた評価・調査を実施

●メディカル・エイド株式会社

所在地　〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3-1-11

連絡先　TEL：0725-53-3270　　FAX：0725-53-5337

〈使用施設〉

体内電磁界測定装置や周波数別の電磁界強度測定機器など、付設のさまざまな研究機器を使用し、電磁波や電磁環境の測定・実験・観測を行います。

協会設立の経緯と主な活動

平成14年 1 月	近畿大学理工学部、大阪医科大学胸部外科、大阪府立産業技術総合研究所、メディカル･エイド株式会社の合同研究開発チームが結成される。
平成14年 8 月	厚生労働省より厚生労働科学研究費補助金給付決定（厚生労働科学研究成果データベース：研究課題名「ペースメーカ装着者の就労や社会参加の促進に向けた高周波電磁波干渉における誤動作防止用電磁波防護服の開発及び利用に関する研究」文献番号20020305）を受け、産官学にわたる広範囲な研究開発が開始される。
平成16年 8 月	「心臓ペースメーカの電磁波に関する感受性の評価技術及び防護服等による妨害電磁波からの心臓ペースメーカの防護技術の開発」が平成16年度大阪府先端技術創出型産学官研究開発補助事業に採択される。ペースメーカ・ICD電磁波防護服の臨床試験が開始される。
平成17年 6 月	（財）テクノエイド協会より平成17年度福祉用具研究開発助成事業（助成事業課題「ペースメーカ及び除細動器装着者の就労促進に向けたペースメーカ誤動作防止電磁波防護服の開発及び利用に関する研究」）に採択される。
平成18年 6 月	三重県四日市市でペースメーカ・ICD電磁波防護服が「日常生活用具」となる。
平成21年 4 月	東京都墨田区・港区でペースメーカ・ICD電磁波防護服が「日常生活用具」となる
平成22年 8 月	ペースメーカ・ICD電磁波防護服が「障害者作業施設設置等助成金」の対象となり、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より助成金の支給が決定される。
平成23年 12月	大阪府和泉市にて和泉市身体障害者福祉会会長である石橋壽子氏が代表となり、当協会の前身である「一般社団法人電磁波防護製品協会」を設立。
平成25年 12月	青森県南部町でペースメーカ・ICD電磁波防護服が「日常生活用具」となる。
平成26年 12月	株式会社ムトウ、小西医療器株式会社、メディカル・エイド株式会社が賛助会員として入会。
平成27年 3 月	一般社団法人大阪府身体障害者福祉協会が入会。当協会事務局を大阪府身体障害者福祉協会内に設置。
平成27年 6 月	日本心臓ペースメーカー友の会が入会。
平成28年 1 月	当協会会長に嵐谷安雄氏が就任。
平成28年 6 月	日本心臓ペースメーカー友の会全国総会（東京）で当協会の嵐谷会長が講演。
平成28年 12月	当協会の本部を大阪府身体障害者福祉協会内に移転する。 NPO法人ハートプラスの会が入会。
平成29年 10月	国際障害者交流センターにて電磁環境調査実施。
平成30年 2 月	当協会の会員制度並びにEAEマーク制度を変更し、ホームページをリニューアル。
平成30年 4 月	当協会新規会員募集とEAEマーク申請受け付けを開始。

当協会へのお問い合せ

一般社団法人　電磁環境・電磁波防護製品評価協会
Evaluation Association of Electromagnetic environment / protection products

＜事務局＞　ＥＡＥ入会･ＥＡＥマーク申込窓口
〒594-1144　大阪府和泉市テクノステージ 3-1-11　和泉市産業振興プラザ南館
メディカル･エイド株式会社 気付　TEL：0725-92-5270　FAX：0725-53-5337

＜本　部＞　〒543-0072　大阪市天王寺区生玉前町 5-33　大阪府障がい者社会参加促進センター内
一般財団法人 大阪府身体障害者福祉協会 気付

E-mail　info@denjihabougo-hyoka.org
URL　http://www.denjihabougo-hyoka.org/